

第28回宮崎県子ども・子育て支援会議発言要旨

- 1 開催日時 令和4年1月19日（水） 午後3時～午後4時20分
- 2 開催方法 オンライン開催
- 3 出席者 いずもとせいいち いで み き おちあいひでみ かわはらくにお くらながしんいち さ さ きじしゅう とりやますみよ
伊豆元精一、井手三季、落合秀美、河原国男、倉永慎一、佐々木慈舟、鳥山純代、
ながとも のじりまさつぐ はらだかなこ やましたけいこ
長友みほ、野尻政嗣、原田佳菜子、山下恵子（以上五十音順。敬称略。）

4 議事等の概要

- (1) 委員改選・会長の選出
- (2) 会議の運営方針等について【資料1】
- (3) 幼保連携型認定こども園の認可について【資料2～3、参考資料1～2】
- (4) 「災害時における相互支援に関する協定」に基づく訓練実施について【資料4】

【主なやりとり】

(1) 委員改選・会長の選出

第5期（任期：R4.1.16～R6.1.15）委員の紹介後、互選により河原委員が会長に就任された。

(2) 会議の運営方針等

事務局より会議の運営方針等について説明し、質疑は特になし。

(3) 幼保連携型認定こども園の認可

2施設（設置、休止各1件）を審議し、事務局審査結果のとおり承認された。

(委員) <設置認可に関し>

利用定員を増やして受け入れることとなっているが、定員増は妥当か。

(事務局) 現在も、定員の弾力化により、定員以上の子どもを受け入れていることに加え、地元自治体から教育ニーズの子どもも増えてくる見込みであるとの意見もあり、全体の定員を増やすことは妥当であると考えている。

(委員) <休止認可に関し>

休止予定の施設は、町の中心部に位置し利便性の高いところにあるにも関わらず休止されるところのことだが、保護者の意見は聞いているか。

(事務局) 昨年12月及び本年1月に当該自治体が保護者に対して説明会を開催する予定となっている。保護者の中には卒園まで預けたいという意向を持っている方もいるようだが、子どもが多い方がよいという意見もあると聞いている。

ただし、少子化などの影響もあり、施設の経営が厳しく、保護者全ての意向に添えていないが、早めの決断を行ったということと承知している。

(4) 「災害時における相互支援に関する協定」に基づく訓練実施

事務局より今年度実施した内容を説明し、意見交換を行った。

(委員) 施設側として訓練があると心強い。

人吉の水害の支援に関わったが、いつどこで起きるか分からない中で、支援体制を整えるのはありがたい。

(委員) 訓練や相互支援は重要であると考えている。来年度以降もお願いしたい。

アンケート結果にもあるが、伝達方法の中でメールが届きにくいという声もあったので、改善をお願いしたい。

(委員) 訓練に参加して、スムーズにできた。参加した職員に聞くと、手順をあらかじめ覚えておくとよいという意見があった。

今後も訓練を継続してもらい、手順を浸透させていってほしい。

(事務局) 今年度、参加していただいた施設からの意見も踏まえ、より実践的な訓練にしていきたいと考えている。

特に、支援内容を具体的に記入するにあたってのルール作りに努めたい。

(委員) 参加施設が9施設だったようだが、どのように選定したのか。

(事務局) 協定を締結している関係3団体(幼稚園連合会、保育連盟連合会、認定こども園協会)に依頼して、実施施設の選定を行っている。

(委員) 各施設では、「みやざきシェイクアウト」を実施したり、各園独自での訓練も実施してたりするので、そういった訓練と連動させるとよいのではないか。

(事務局) 各施設での訓練が行われていることは承知しているが、その一つとしてこの協定に基づく訓練を活用してもらえるように努めたい。

以 上